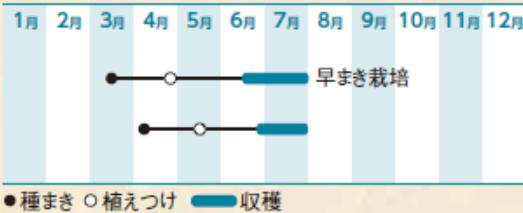




品種  
・ダイナー  
・グリーンポート1号

栽培カレンダー



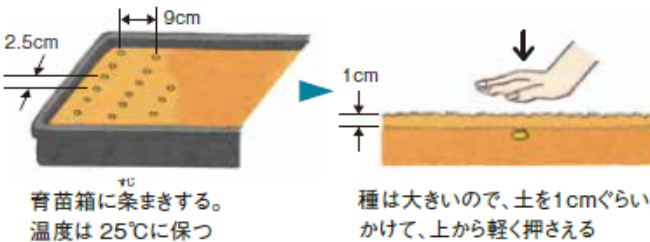
# ズッキーニ

栽培のポイント

- ① 湿り気の多い畑では畝を高く**  
湿気は大敵です。大きく高い畝を立てて、ポリフィルムでマルチングしましょう。密にならないよう植え付け、その後は換気用の穴があいたホットキャップをかぶせて保温しましょう。
- ② 支柱を立ててしっかり固定**  
葉が大きいので風に振り回されやすく、折れた傷口から病害が侵入したりします。短い支柱を立てて、しっかり固定しましょう。
- ③ 人工授粉で確実な収穫を**  
良質な果実を収穫するために、人工授粉をしましょう。

## 1 苗づくり

早まきの場合



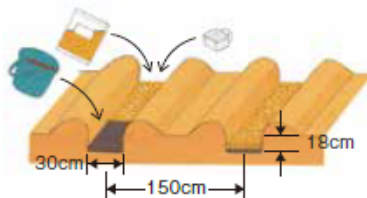
普通まきの場合

暖かくなってからなら、3号鉢に直接種をまく

4月下旬ころまではビニールトンネルで、夜間は上に保温材(古い毛布など)をかけて保温する

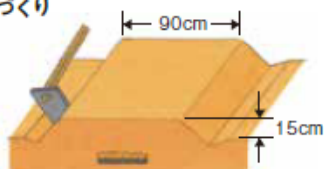
## 2 元肥入れ

(溝の長さ1m当たり)  
化成肥料: 大さじ2杯  
油粕: 大さじ3杯  
堆肥: 4~5握り



## 3 植えつけ

① 畝づくり



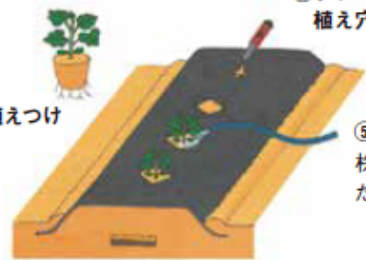
元肥溝を埋め戻して畝をつくる。湿り気の多い畑では畝を高くする

② 畝全面に黒色ポリフィルムをマルチする。

フィルムの裾はしっかり土で押さえておく

暖かい日を選んで畑に植える

④ 植えつけ



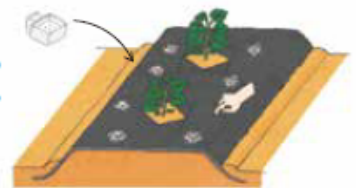
③ フィルムに植え穴をあける

⑤ 灌水 株のまわりにたっぷり

## 4 追肥

第1回追肥

植えつけ半月後、株の近くのところどころに指先で穴をあけ、肥料を施す(1株当たり)  
化成肥料: 大さじ1杯



第2回追肥

収穫始めのころ、フィルムの裾をめくり上げて追肥する。終わったら元に戻す

強い風に振り回されないよう、短い支柱を交差させて立てて固定する



第3回以降の追肥

半月ごとに株のまわりや畝間にばらまき、土と混ぜる

## 5 収穫

一般的なもの

煮物(ラタトゥイユなど)、サラダ、揚げ物、漬け物など用途は広い

大きく太らせたもの

開花期に人工交配すれば、尻部の肉こけが少なくなる。鉄板焼き、天ぷらなどに

花ズッキーニ

開花前にとる。煮物などに

キリトリ線に沿ってお切りください